

2011年度後期

知の市場(シラバス)

継続

2011.09.30

科目No.	WT453	科目名	環境政策				副題	良好な地球環境を次代に引き継ぐための日本の政策と国際動向			
連携機関	早稲田大学規範科学総合研究所	レベル	中級	教室定員	50	配信定員	20	講義日時	土曜日 13:00~15:00 15:10~17:10	講義場所	早稲田大学西早稲田キャンパス
科目概要	環境汚染や健康被害を防止し、自然環境や地球環境を保全するために進められている環境政策について、環境問題の原因やその社会的背景・歴史の変遷とともに、基本的考え方及び全体像を概説する。また、水環境、大気環境、化学物質、廃棄物・リサイクル、環境アセスメントなどの分野ごとに、問題の現状、対策の枠組み、今後の課題などについて概説し、これからの対策をどのように進めていけばよいかを考えていく。さらに、その中で、具体的な個別の環境問題の背景及び解決法について、様々な角度から考察する。										

科目構成	No.	講義名	講義概要	講義日	教室	講師名	所属
環境政策の全体像	1	環境問題と環境政策の歴史	産業公害から都市生活型公害を経て地球環境問題に至る環境問題の歴史を振り返り、その中で成立してきた環境政策の基本的考え方や施策の変遷を概説する。また冒頭に全体の進め方を説明する。	11月19日	53号館 204室	戸田英作	環境省 環境保健部
	2	化学物質対策	化学物質環境対策の基本的なアプローチとして、環境リスク評価(有害性試験、環境モニタリング、曝露予測の手法等)、リスク管理(化学物質審査規制法、化学物質排出把握管理促進法等)、国際条約や国際機関の活動等の動向について解説する。				
水環境等の保全	3	環境基準と水質汚濁防止法	水環境保全施策の基本となる環境基準の設定の考え方、設定状況を解説するとともに、環境基準の達成状況等を通じて、水環境の現状を紹介する。また、水質汚濁の原因と対策について概観した上で、対策の基本となる水質汚濁防止法について、規制の体系、排水規制と排水基準、生活排水対策、常時監視等の内容につき解説する。	11月26日	61号館 210室	山本郷史	環境省 水・大気環境局
	4	多様な水環境保全関連施策及び海洋汚染防止施策	多様な水環境保全施策の中で、閉鎖性水域(海域、湖沼)の保全施策、地下水・土壌の保全施策を中心に解説する。また、海洋汚染防止に係る国内外の施策連携等についても紹介する。				
大気環境の保全	5	大気環境概論	足尾銅山から越境大気汚染問題まで、大気汚染問題の歴史について概観するとともに、大気環境保全施策の基本となる環境基準の法的な意義、政策上の意味、設定手法、近年における達成状況等について解説する。	12月3日	53号館 204室	戸田英作	環境省 環境保健部
	6	固定発生源対策及び移動発生源対策	大気汚染防止法に基づく工場等の固定発生源からの排出規制、有害大気汚染物質対策、揮発性有機化合物対策、自動車排出ガス等の移動発生源の規制の制度と手法について解説する。また、健康被害の補償・予防、国際的な動向にも触れる。				
環境と科学技術	7	環境と科学技術(1)	公害や環境問題について、科学技術や社会との関わり方の視点から、国内外での議論の動向などを解説する。また、最近の科学技術・イノベーション政策において注目されている環境対策を紹介する。	12月10日		只見康信	東京大学IR3S (環境省)
	8	環境と科学技術(2)					
自然環境の保全	9	自然環境の現状と自然環境保全施策の枠組み	我が国の自然環境の現状や推移について自然環境保全基礎調査やモニタリングサイト1000などの結果をもとに紹介するとともに、自然環境保全施策の基本的枠組み(各種法制度)について概説する。	12月17日	61号館 210室	中澤圭一	環境省 自然環境局
	10	生物多様性の保全	生物多様性の保全と持続可能な利用に関する基本的考え方と政府の施策を示した「第3次生物多様性国家戦略」、第10回生物多様性条約締約国会合の結果を中心に、生物多様性の保全のための様々な取組について解説する。				
廃棄物・リサイクル対策	11	廃棄物の適正処理	家庭から排出されるごみ(一般廃棄物)や工場などから排出される産業廃棄物を適正処理するための基本的な仕組みを概説するとともに、産業廃棄物の排出者責任の強化、不法投棄対策・PCB等有害物質対策の強化など最近の動向について解説する。	1月14日		高橋 一彰	環境省 廃棄物・リサイクル対策部
	12	循環型社会の構築	循環型社会の構築のための基本的考え方と、そのために導入されている様々なリサイクル法制度について概説する。また、地域における循環型社会づくりの取組事例を紹介するとともに、国際的な循環型社会の構築に向けた我が国の取組を解説する。				
地球環境の保全	13	地球温暖化対策	近年最も重要な課題となっている地球温暖化対策について、温暖化の影響等に関する科学的知見、国際的な動向を紹介するとともに、京都議定書の削減目標達成のための国内施策及び将来の低炭素社会構築に向けた取組を解説する。	1月21日	53号館 204室	新田 晃	環境省 地球環境局
	14	その他の地球環境保全対策	オゾン層の保護、酸性雨対策、森林・砂漠化対策、海洋汚染・漂着ごみ対策、開発途上国に対する環境協力など、様々な地球環境保全対策の現状と課題について解説する。				
環境アセスメント	15	環境アセスメントの制度と運用	大規模な公共事業などを実施する前に環境への影響について調査・予測・評価を行い、住民などの意見を聴取し、事業計画に環境への適切な配慮を盛り込んでいく環境アセスメントについて、制度の歴史・骨格及び様々な事例を解説し、よりよい進め方について考察する。	1月28日		小野 洋	環境省 総合環境政策局